

株式会社TOP
http://www.top-corp.jp/
所在地：越前市今宿町20-1
電話番号：0778-23-6500
代表者：山本 恵一 氏
資本金：2,700万円
従業員数：393名
事業内容：モーター設計・開発・生産・販売

株式会社サカセ化学工業
http://www.sakase.com/
所在地：福井市下森田町3-5
電話番号：0776-56-1122
代表者：酒井 哲夫 氏
資本金：9,600万円
従業員数：179名
事業内容：医療、産業分野向け什器等の製造販売



工場内の流れを把握することも重要。ライン全体を広い目で見直していきます。



5Sの行き届いた備品棚。現場の良い点も多く見つかります。



同社が手掛ける数々のモーター製品。



第三者の視点からの発想が、大胆な改善を引き出して。

株式会社TOP × サカセ化学工業株式会社

福井ものづくりリンストラクタースクールの現場改善実習は、他業種の現場を知り、視野を広める貴重な経験にもなります。医療・産業分野のキャビネット・カートの製造を手がけるサカセ化学工業株式会社の高橋英生氏は、実習で自動車や家電に用いるモーターの開発・生産・販売を行う株式会社TOPを訪問。異なる視点で引き出された改善を、TOPの常務取締役 生産本部長の西 巧氏と製造部の中嶋義人氏を交えて伺いました。

異業種との交流を通して学びをフィードバック

受講生である高橋氏は、社内で改善活動を推進するOJT S室の係長を兼任しています。「上司から福井ものづくり改善インストラクタースクールで基礎的なことを学び、今、手がけていることにフィードバックしてほしいと言われてました」と受講のきっかけを振り返る高橋氏。スクールでは座学の講義後、県内ものづくり企業に出向き現場改善実習を実施。高橋氏は、受講生4人で編成するチームのリーダーを務めました。「業種や立場、年齢も異なる中、コミュニケーションのとり方を今まで以上に意識するようになりました。また、他社を見るという経験を通して、実際にその場に行かないとわからないことがあることを改めて実感しました」と手応えを語ります。

今回の実習改善現場として協力されたTOPの西常務も、「違う会社の方に来ていただくことはすごく刺激になりますし、モチベーションが上がります」と業種の壁を越えた

善の手法を学んだのですが、実習でそれらを実践し、自分たちの体にしみ込ませる作業ができたのはすごく良かったですね。」

その分析結果とTOPからの意向を含め、「鋼板巻線工程生産効率アップ」を改善テーマに設定。家電用の鋼板インダクションモーター巻線工程での多品種、小ロット生産ラインを中心に作業を調査し、課題を抽出、具体的な改善案を提案しました。

交流を前向きに捉えています。TOPの社員もスクールの受講生として参加しており、修了後の社内での活躍に期待を寄せているそうです。

講義の学びを実践してチーム全員で現状分析

現場改善実習に先駆け、始めにTOPの工場を見学。会社概要や品質方針などをヒアリングし、TOP側からは「生産性向上」、「技能伝承（人材育成）」、「在庫の削減」という3テーマの検討が提示されました。

「見学した現場はすでに高度な改善活動に取り組まれており、いったいどこに問題があるんだろう？という状況でした」と語る高橋氏。改善提案まで約1ヶ月という短い時間の中で、3回にわたって現場実習を行い、チーム全員で改善点をディスカッション。各メンバーがビデオに収めた現場の様子を検証して、良い兆候と改善を要する兆候の両面をピックアップし、工場の生産実態を把握するモノと情報の流れ図VSMを作成しました。「講義ではいろんな改

第三者の視点が生きる大胆な発想の改善提案

高橋氏のチームが提案した具体的な改善策は、現状の4人体制から3人体制への移行による「省人化」や、すべての作業を標準時間で管理する「平準化」など多岐にわたりました。その中でも、特にφ140の鋼板巻線工程に対する改善策は、「私たちの常識では出ない大胆な発想」と中嶋氏は語ります。それは機械で巻き取った巻線（ガラ巻）をケースに保管し、手でインサーター治具にセットするという熟練の技が求められる一連の作業を、あらかじめ予備の治具に巻線をセット

しておく外段取りを加え、ワンタッチでセットできるようにする提案でした。「第三者の目で見ても、初めて出てくるアイデア。いろんな業種の技術者の視点で現場を見ていただき、我々には思いつかなかった意見が出てきたと思います」と西常務も満足そうに微笑みます。

今回の実習を経て、「一番大きかったのは、TOPさんをはじめいろんな会社の方と知りあえたこと。何かあったとき相談しあえる仲間ができました」と語る高橋氏。「実習で学んだことを社内でも共有するとともに、一期生のつながりも大切にしていきたいです」と笑顔で締めくくりました。



高橋 英生 氏



中嶋 義人 氏



西 巧 氏